

こおろぎ

発行日 2004年12月1日 **No.141**
 発行元 株式会社
 オリジン・コーポレーション
 代表取締役：杉井保之
 〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
 TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
 E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
 URL <http://www.origin-co.com>

失敗を恐れるな

私は12月から「算数」の塾に通うことにしました。

言葉で説明してもわからないと思いますので、これから先の内容を読む前に、まず15分間、同封の分数の問題をやって下さい。やってから読むのと、やらずに読むのでは天と地の差があると思います。

(やり方)

- 1、 制限時間は、15分間です。
- 2、 番号の順に問題を解いていってください。
- 3、 15分経ったら、裏の回答を見て、自分で採点をする。

この問題は、小学校5年生の算数の問題です。
算数には少し自信があった私でしたが、結果は17問の正解でした。皆さんは、いくつ正解したでしょうか？

やってみて、このテストには、二つの分岐点があると思いました。一つ目は、「この問題をやるか、やらないか」という分岐点です。もし私に突然この問題が送られてきたら、私は恐らくやらないと思います。たった15分間試すことを面倒くさく思うからです。しかし、そんな私が、今と違う行動を試すでしょうか？

私のような「面倒くさい病」の人は、自分の考えの外にある可能性を捨て、今の人生に不満を言いながらも、同じ行動を繰り返すのです。

自分なりにいろいろな勉強をしたり、努力をしている人がいますが、もしなかなか探し物が見つからなかったら、同じところばかり探すのではなく、自分の考えの外を試してみるのも良いと思います。

抽象的な話には夢があり、観念的な話はおもしろいかもかもしれませんが、せっかく良い本を読んだり、良い講演を聴いたりしても、そこで述べられていることを試さない限り人生は変わりません。人生を変えるのは、実際に試すことだと私は思うのです。

二つ目の分岐点は、実際に問題をやった人だけが出合える、「正しく採点をするかどうか」という分岐点です。

この問題を提供してくれた、セルフラーニング研究所の平井雷太さんによると、問題をやった人に採点を任せると、大人であっても90%以上の方が採点をごまかしたくなるそうです。

私たちは、誰をごまかそうとしているのでしょうか？
もしかしたら、私たちはそれほどまでに「出来ないこと(失敗)」を嫌っているのかもしれないね。

しかし、この世の中に失敗をしない人がいるのでしょうか？ 誰ひとり、完璧な人などいないのですから、そんなに出来ないことを嫌う必要はないと思います。自分の足りないところと出合ってこそ、私たちに成長の可能性が拓けるのです。せっかく恵まれた成長の機会を生かすことに目を向けていきたいものだと思います。

私を含め、多くの人が出来ない自分を恐れて、とても窮屈な生き方をしている気がします。現代では「今の結果」で評価されがちですが、失敗を嫌っている限り、本当の安心などないと思うのです。

皆さんは、自分の足りないところを嫌って、出来ている自分ばかりを求めていますか？ 今の成功・失敗に一喜一憂せず、淡々と努力できる人になりたいものです。

平井雷太氏講演会 in 東京

日時：1月22日(土) 18:00~20:00
 場所：株式会社コネクト セミナールーム JR 田町駅前
 お問い合わせ：03-3453-8117 (株)コネクト(波多野)

お便りコーナー

いつも「こおろぎ」を、ありがとうございます。
 新潟は、台風と地震、その後の天候不順で、思った以上の被害を受け、立ち直るために、仲間と協力して来年へ向かっているところです。
 多くの人々が仕事と家を失いました。イベントなど、すべて中止されましたが、皆様のお心に励まされ、被害に立ち向かっています。
 これまで小さなことに腹を立てていたことがウソのように、大きな試練を受け入れ、皆、淡々と汗を流しています。
 常のお心遣いに失礼しており、せめて、ハガキにて御礼を申し上げます。いつか必ず元氣一杯で、ご挨拶できます日を……。

北海道の絵ハガキをありがとうございます。
 また、今号も「こおろぎ」をありがとうございます。こおろぎの発送を手伝ってから読むと、また一味読みごたえが違いますね。毎月、こうして多くの方々の努力で全国に届けられるのですね。サンタたちの舞台裏に参加した気がしました。どうぞ良いお年をお迎えください。
 先日、二番目の娘(高二)が英語検定二級に合格したと、嬉しそうに報告してくれました。小学校の時には、いじめに遭ったり、もともと勉強が好きでなくて、短期の登校拒否だったり、ずいぶん心配しましたが、それを思うと、たかが英検二級ではありますが、父親として胸にくるものがあります。

ごめんなさい

もうすぐクリスマスですね。
 この一年を振り返ってみると、いつの間にか偉くなって、人を評価している私があります。大切にしたいと思っている人と競争した私があります。やさしい言葉をかけることから、逃げた私があります。本当は大切に思っている人を、切り捨てた私があります。そうしたことを謝ろうと思いつつ、どこかで自分の言い分を見つける私があります。
 本当に、すみません。
 それなのに、そんな私のことを大切にしてくれて本当にありがとうございました。
 せめて、そんな私であることを忘れずに生きていきたいと私は思います。
 一年間、本当にありがとうございました。どうか良いお年をお迎えください。

